議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2024年（令和6年）12月1日
https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/

目　次

令和６年第３回定例会の議決結果　②
人事案件　②
鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について　③
委員会審査　④～⑤
一般質問　⑥～⑫
令和５年度決算審査　⑬
行政視察　⑭
鳴門渦潮高校の表紙制作　⑮
令和６年第４回定例会の予定、ご意見箱　⑯

【鳴門渦潮高校制作】

〈詳細は、15ページをご覧ください〉

地域とともに　これからも

鳴門渦潮高校では、様々な活動を通して、地域に貢献できる生徒の育成に取り組んでいます。
これからも鳴門渦潮高校の活動に注目していただき、応援をどうぞよろしくお願いいたします！

No.129

《 令和６年 第３回定例会の議決結果 》

議案番号	案　　件	議決結果	所管の委員会
議案第57号	令和６年度鳴門市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	
議案第58号	令和６年度鳴門市一般会計補正予算（第５号）	原案可決	予算決算
議案第59号	令和６年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）		
議案第60号	令和６年度鳴門市下水道事業会計補正予算（第１号）		
議案第61号	鳴門市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第62号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		
議案第68号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について		
議案第63号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第64号	鳴門市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案第69号	徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		
議案第65号	鳴門市下水道条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第66号	鳴門市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について		
議案第67号	鳴門市水道法施行条例の一部改正について		
議案第70号	訴えの提起について		
報告第７号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報　告	生活福祉 産業建設
報告第８号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について		産業建設
報告第９号	令和５年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について		予算決算
報告第10号	令和５年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
報告第11号	継続費精算報告書について（鳴門市一般会計）		
同意第４号	公平委員会委員の選任について	同　意	
諮問第３号	人権擁護委員の推薦について	同　意	
発議第３号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	否　決	
発議第４号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	原案可決	

※「発議第３号」は、議員定数を４人削減し「22人」から「18人」へ、「発議第４号」は、議員定数を２人削減し「22人」から「20人」へ改めるもの。

人事案件

〔同意第４号〕　●公平委員会委員　上地（かみじ） 大三郎（だいざぶろう） 氏（徳島市）

〔諮問第３号〕　●人権擁護委員　梯（かけはし） 美千代（みちよ） 氏（大麻町）

討論

鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

第３回定例会閉会日（９月26日）に鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する議案２件（発議第３号、発議第４号）が提出されました。発議第３号は、議員定数を４人削減し「22人」から「18人」に改正するもので、賛成少数により否決となりました。発議第４号は、議員定数を２人削減し「22人」から「20人」に改正するもので、賛成多数で原案可決となりました。

提案理由	発議第３号	【宅川　靖次】 鳴門市の人口は、議員定数を見直した平成17年当時の約６万4,000人から、令和６年８月末には約５万3,000人となり、１万1,000人以上減少している。国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、2040年には今以上に減少するとされている。市民の経済的負担等は、今までにないほどの苦痛となっており、公益的な考えのもと、議員定数を現在の22人から18人に減らすことを提案する。
	発議第４号	【江戸　貴志】 鳴門市議会議会改革検討会において、定数については令和６年５月より４回ほど議題として取り上げてきた。面積や人口に対して全国他市との議員定数を比較したところ、本市の議員定数は20人が妥当と考える。議員全員が全力で人口維持、人口増加に取り組んでいく必要があるが、鳴門市の人口減少が加速する中で、議員定数の削減は当然のことであり、議員定数を22人から20人に減らすことを提案する。
反対討論		【上田　公司】 深刻な人口減少やまちの衰退を招いたのは、理事者の政治能力だけではなく、現行の議員22人にも責任はある。さらに定数削減をして、どうやってまちを再生するのか。その根拠さえ示せない。また、人口減少を理由に挙げているが、多様性の時代に自治体によって取り組むべき課題や方向性は違う。本来、市民が議員に求めているのは、市民の声をさらに市政に反映させるため、議員個々の知見や政治能力を向上させることである。
反対討論		【叶井　克典】 徳島県内、四国内の市議会の人口規模や議員定数をみても、鳴門市の議員定数は同程度の状況にあり、決して多いわけではない。また、定数を削減することで常任委員会の数または委員の数を減らさなければならないが、議員間討議をすることをふまえ、委員の数を検証もなく減らしてもいいものなのか。現在の状況では議員定数に関する議論が十分に行われていないと考えられるため、定数削減に反対する。

採決結果

発議第３号　否　　決〈出席議員19人中、賛成７人〉
発議第４号　原案可決〈出席議員19人中、賛成12人〉

議席番号順

議員名	藤田茂男	小西努	上田公司	宅川靖次	野田粋之	浜盛幸	圃山俊作	梶達矢	叶井克典	佐藤絹子	潮崎憲司	前田ナツ子	三津良裕	長濱賢一	八木亨	秋岡芳郎	江戸貴志	橋本国勝	山根巌	東正昇	高麗裕之	東谷伸治
発議第３号	○			○	○					○		欠席	○			欠席		○			○	議長
発議第４号	○	○			○	○		○			○		○	○			○	○		○	○	

※議長は、地方自治法第116条第２項の規定により、議員として議決に加わることはできません。
※○は賛成の意思を示した議員です。

総務文教委員会

●議案第62号

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、公職選挙に係る選挙運動の公費負担の限度額を引き上げるため、関係する3つの条例について所要の改正を行うもの。

【質疑】選挙運動用ビラの頒布枚数の上限は。

【答弁】指定都市以外の市の選挙については、市長の選挙が候補者1人あたり1万6000枚、議員の選挙が候補者1人あたり4000枚とされている。

【質疑】選挙運動用ポスターの上限額は。

【答弁】改正後の金額での1枚あたりの上限額は3554円であり、本市のポスター掲示場の数と同じ105枚まで公費で作成できるため、総額の上限額は37万3170円となる。

生活福祉委員会

●議案第64号

鳴門市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について

「介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令」の施行に伴い、市町村が条例で定める地域包括支援センターの職員配置基準を柔軟化するもの。

【質疑】地域包括支援センターは、現在の基準どおりで運営するのか。

【答弁】人材不足等に対応するため国が規定を改正したが、鳴門市では5つの地域包括支援センターすべてで3職種の定数を満たしている現状を維持し、地域の皆さんの課題等を一緒に解決していく。

【質疑】改正後の基準に沿って職員を配置した場合に問題が生じる可能性があるのではないか。

【答弁】市内の地域包括支援センターと連絡会等で随時状況把握を行っており、それぞれの意見を吸い上げたうえで問題解決に向けて進めていく。

【意見】現在介護をしている方が高齢になった際に人材不足が心配されるため、人材確保に尽力してもらいたい。

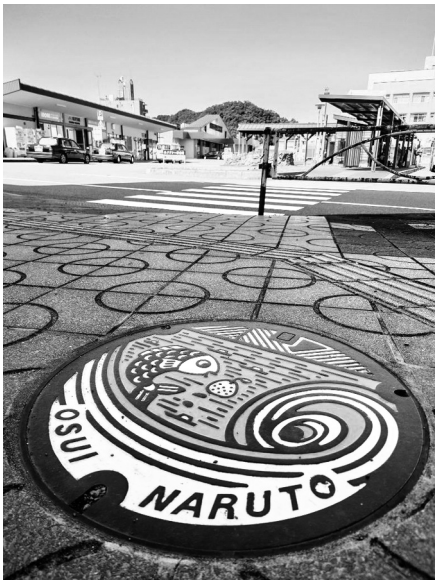
産業建設委員会

●議案第65号
鳴門市下水道条例の一部改正について

近年のデジタル化の進行により、携帯電話等で下水道排水設備工事責任技術者と施工現場の相互連絡が可能であること、また、建設業のDX化等により、専属・常駐していなくても指示・確認が可能であることから、専属規制を緩和するとともに、責任技術者は営業所の兼務状況等を確認した上で、徳島県内の区域内における営業所について兼任を妨げないこととすることができるよう、所要の改正を行うもの。

【質疑】責任技術者を「専属する者」から「選任する者」へ見直すことによる現状との変更点は。

【答弁】常駐・専任規制を緩和することにより、他の営業所との兼任が可能となるため、指定工事店が増えることにより競争力が上がり、価格面への反映や品質面の向上が期待できるほか、責任技術者の人材不足の解消にもつながる。



予算決算委員会

●議案第58号
令和6年度鳴門市一般会計補正予算（第5号）

地震等の災害に備えるため、防災力強化に資する事業に係る予算を緊急的に編成するとともに、うずしお会館および分庁舎の改修事業にかかる予算や道の駅「くるくる　なると」駐車場増設工事、鳴門高等学校奨学金給付事業などの本市の将来を見据えた重点施策にかかる予算を編成するもの。歳入歳出それぞれ20億7113万9千円を追加し、総額はそれぞれ310億6920万4千円となる。

【質疑】うずしお会館改修事業について、利用者の利便性向上に資するトイレの洋式化・バリアフリー化・照明設備LED化を図るとあるが、2階についてはどのように改修する予定なのか。

【答弁】会議室については、改修時期に合わせて工事期間中は休止とする予定。内部については現状の用途から変更の予定はないが、LED化や雨漏りの補修、トイレの洋式化を行う。

うずしお会館

一般質問

代表質問

❶東　正昇（会派　潮）

1. 市長の政治姿勢について

(1) これからの鳴門市のまちづくりについて

(2) 企業誘致について

2. スポーツ振興について

(1) スポーツ推進計画について

(2) スポーツ施設について

❷野田　粋之（会派　創心クラブ）

1. 市長の政治姿勢について

(1) 人口減少対策について

2. 教育行政について

(1) 学校給食について

❸梶　達矢（会派　ナルト地方創生会）

1. 教育行政について

(1) 未来を担う子どもたちへの教育について

(2) 生成ＡＩの活用について

2. 有害鳥獣について

(1) 現状と対策について

❹宅川　靖次（会派　令和なると）

1. 市長の政治姿勢について

(1) 指定管理者制度について

(2) 観光行政について

❺浜　盛幸（会派　公明党）

1. 市長の政治姿勢について

(1) 防災減災について

2. 福祉行政について

(1) 視聴覚障がい者への対応について

❻潮崎　憲司（会派　未来）

1. 防災行政について

(1) 南海トラフ地震臨時情報発表時の対応について

(2) 企業のＢＣＰ（事業継続計画）について

(3) 避難所等について

会派　潮
東（あずま）　正昇（まさのり）

公共スポーツ施設の現状

問 「鳴門市スポーツ推進計画後期計画」の取り組みで、鳴門市が特にスポーツ誘致を含めスポーツのまちを推進する上で、本市の公共スポーツ施設の現状をどのように捉えているのか、ハード面・ソフト面、両方の観点から伺いたい。

答 本市には、総合運動場、体操場、剣道場など様々な施設があり、主には練習や大会の開催などに幅広く利用いただき市民のスポーツ活動の拠点として重要な役割を担っている。

しかし、施設の多くは老朽化が進んでいるため、適切かつ計画的に改善を行い、安全にご利用いただけるよう努めているほか、トイレの改修など利便性の向上に取り組んでいる。

今後については、県や学校、関係団体と連携し、利用者のニーズに応えられるよう努める。

また、体育館とプールを兼ね備えた新たなスポーツ施設の基本構想を今年度中に示したいと考えている。

要望 屋外でのスポーツ施設については、野球場、サッカー場ほか、スポーツ誘致を語る施設になっていない。現在の鳴門市総合運動場の場所を開発し、進入路を国道から取りこみ、野球場、サッカー場、テニス場ほかを兼ね備えた総合スポーツ施設の誘致に早急に取り組み、交流人口の増加につないでほしいと考える。さらにホテルなど宿泊施設の新設を図り、観光地とも連携し、経済の好循環を生み、税収の増加につながる「入りを図る」ことに繋げていくよう要望する。

鳴門市総合運動場

会派 創心クラブ
野田 粋之（のだ きよゆき）

人口減少問題

問 今後の人口減少対策は、本市の地理的条件、立地条件を活かした関西圏に向けた施策が必要と考える。現状の取り組みや市の考えは。

答 人口減少対策については、新たな移住コンセプト「半農半Ｘ」や移住交流ＰＲ大使との連携による移住交流促進に向けたブランディングを図るなど、関西圏からの移住・定住の促進、将来的な地方移住にもつながることが期待される関係人口の創出拡大に取り組んでいる。また、本市への移住者の多くは大阪府、兵庫県からであることから、関西圏の若年層をメインターゲットにした移住専用ウェブサイトやインスタグラム「ＮＡＲＵＴＯ・３ＲＤ」による情報発信、また、現地で開催される移住フェアへの参加などの取り組みを行っている。

今後も関西圏に隣接している地理的条件を活かした若者の定住促進、移住者や交流人口、関係人口の増加を意識しながら鋭意取り組んでいく。

鳴門市と関西圏を結ぶ大鳴門橋

学校給食の現況

問 物価高騰による影響について、学校給食の現場の状況は。

答 食材料費が上昇し続けていることから、その差額分については公費で補填しており、令和４年度は約１１００万円、令和５年度は約３０００万円の予算措置を講じ、実質的な保護者への負担が増加しないよう配慮している。

物価高騰は、今後も続くと予想されるが、さまざまな工夫を凝らしながら安全でおいしい学校給食を提供できるよう努めていく。

会派 ナルト地方創生会
梶 達矢（かじ たつや）

有害鳥獣対策の取り組み

問 猿や猪の被害が今年は特にひどいという相談が多くあるが、市の対策は。

答 令和６年度は延べ約１００件の通報や農作物への被害報告が寄せられている。対策としては、国の交付金を活用した農地への侵入防止柵の整備と鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会が行う捕獲や駆除が中心となっている。令和６年８月末までに猿は前年比４３８％の１７１頭を、猪は３３２％の３１５頭を捕獲している。引き続き地域住民から情報を得つつ、県に対しては改めて広域的な対策を要望するとともに、駆除員と連携し持続的に対策を実施していく。

学校における生成ＡＩの活用

問 教育活動において生成ＡＩをどのように活用していくのか。

答 文部科学省のガイドラインでは、生成ＡＩは発展途上にあり情報拡散や個人情報流出、著作権侵害などのリスクが懸念されている。一方で多大な利便性を持つ生成ＡＩを使いこなす力を育てていく姿勢も重要であることから、限定的な利用から始めることが適切である。また、全学校を対象として情報モラル教育、情報活用能力の育成強化が求められている。市教育委員会としては、情報モラル教育が一層充実するよう、研修会等を通じて教員の指導力向上と生成ＡＩの仕組みを学び、情報の真意を確かめること等、情報活用能力の向上を図っている。また、生成ＡＩの活用は校務の効率化にもつながるので、今後国から示される方針等に注視しながら調査研究を進めていく。

会派　令和なると
宅川（たくかわ）　靖次（やすじ）

指定管理者制度

問 指定管理者制度を導入している施設数は。また、施設修繕の負担は。

答 従前の公の施設の管理委託は公共団体などに限定されていたが、指定管理者制度では条例の定めにより、個人以外の民間企業なども指定管理者とすることが可能となった。また、条例の手続きを経て施設利用料金を設定し、指定管理者の収入とすることができることに加え、施設の利用許可や処分についても指定管理者が行えるため、迅速な対応が可能となる。

平成18年度にドイツ館など6施設に指定管理者制度を導入し、現在では体操場、道の駅「くるくるなると」など8施設に導入している。

指定管理者制度を導入している
鳴門市ドイツ館

施設修繕の規模による役割分担や費用負担は、指定管理者との基本協定書において施設ごとに定めており、基本協定書に定める金額を超え修繕する必要があると判断した場合は、市の負担で修繕することとしている。

鳴門市納涼花火大会の方向性

問 鳴門市納涼花火大会の今後の方向性は。

答 すべての条件や課題をクリアできる候補地はなく、これまでと同規模での花火大会の開催は困難であることから、方向性を修正し、花火の号数、発数を縮小するとともに、花火単体に頼らず魅力あるコンテンツを含めたイベントの実施を検討する。

令和7年1月を目途に鳴門阿波おどり実行委員会において日程や場所など具体的内容が審議されることとなっているため、本市においても周辺住民および来場者が安全・安心に楽しめるイベントの実施に向け実行委員会の一員として取り組んでいく。

会派　公明党
浜（はま）　盛幸（せいこう）

防災・減災　避難所運営

問 能登半島地震で高齢者などの要配慮者が数多く被災したことを踏まえ、国は6月に防災基本計画に福祉的支援の必要性を明記した。その中でも入浴、洗濯など生活に必要な水の確保に努めるよう要請されているが、本市の状況は。

答 現在、市内各避難所に飲料水を含む生活用水としてペットボトルを備蓄しているほか、うずしおふれあい公園と大塚スポーツパークの市内2か所には緊急貯水槽を設置し、270トンの水を確保している。また、令和6年7月に鳴門市水プロジェクトワーキンググループを立ち上げ、防災井戸や農業用水の活用促進をはじめ、飲料水および生活用水の運搬に係る諸課題について検討を進めている。

避難所における男女共同参画

問 災害対応における男女共同参画についてどう対処しているか。

答 具体的取組として鳴門市防災会議の委員に女性の就任を積極的に呼びかけ、全体に占める女性の割合を年々高めている。令和5年度から実施している鳴門市地域防災リーダー養成講座において昨年度は46名の女性防災士が誕生するなど地域の防災力向上につながっている。

軟骨伝導イヤホンの活用

問 軟骨伝導イヤホンは通常のイヤホンや骨伝導イヤホンと比べて、耳穴をふさぐことなく軟骨付近に軽く添えるだけで音を拾えるため痛みや音漏れが少なく、非常に聞きやすくなる利点がある。本市窓口でも導入すべきでは。

答 デジタル技術の進展により聞こえを支援する器具は多様化しており、より多くの方の適正に応じた支援につながる方法を、当事者の声を聴きながら調査研究し、支援充実につなげていく。

会派　未来
潮崎　憲司（しおざき　けんじ）

南海トラフ臨時情報発令時の対応

問 臨時情報発令後、市の対応は。

答 情報発表後、直ちに注意態勢を配備し、注意終了後まで危機管理局を中心に24時間体制で各部局と連携し、情報収集に努めた。市民へは、メール配信サービス、市公式X等を通じて日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したら即避難できる準備をするように呼び掛けを行った。

企業のBCP（事業継続計画）

問 市内企業のBCP（事業継続計画）策定の取り組みは。

答 BCPの簡易版として、中小企業のための事業継続力強化計画がある。本市における市内企業のBCP策定に向けた取り組みとしては、令和5年1月に鳴門商工会議所、大麻町商工会および鳴門市の3者で徳島県に共同申請し認定を受けた事業継続力強化支援計画の策定推進があり、この計画により令和5年度から令和9年度までの年次計画で掲げたBCPおよび事業継続力強化計画の策定支援事業者数の目標達成に向けた取り組みを進めている。

災害時の安否確認

問 指定避難所等に様々な問題で避難できない方々の安否確認の対策は。

答 大規模災害発生時には、広域避難や縁故避難などを含む指定避難所以外に避難する避難者も多く想定され、安否確認等に時間を費やすと思われる。対策としては、日頃から関係者同士の顔と顔の見える関係性の構築による共助、近助の取り組みを進めていくことが重要であると認識している。自主防災会や自治振興会等との情報共有を中心に避難者の安否の把握を行いたいと考えている。

個人質問

❶叶井　克典
1. 教育行政について
(1) 学力の向上について
2. 福祉行政について
(1) 高齢者の精神的肉体的疲労等の回復について

❷前田ナツ子
1. 福祉行政について
(1) 認知症対策について
2. 奨学金制度について
(1) 奨学金返還支援制度の導入について

❸上田　公司
1. 民間委託について
(1) ごみ収集業務について
2. 焼却施設について
(1) 公文書について
(2) 運転管理について

❹山根　　巌
1. 教育行政について
(1) 公立高等学校の学区制の廃止について
(2) 市内の高等学校の魅力化・特色化について
(3) 理数系人材の育成について
2. 就学前保育・教育について
(1) 公立幼稚園について
(2) 公私連携幼保連携型認定こども園について

❺小西　　努
1. 人事行政について
(1) 職員採用について
(2) 職員の資質向上について
2. 消防行政について
(1) 火災・救急の状況について

❻長濱　賢一
1. 人口減少対策について
(1) 第三期総合戦略及び人口ビジョンについて
(2) 第三期総合戦略に基づく「仕事」をつくる施策について
2. 契約について
(1) 競争の手続きについて
(2) 入札方式の種類ごとの契約について

叶井 克典（潮）

夏季休業後の児童生徒への対応

問 夏季休業後の学校生活にすぐに馴染めない児童生徒のために、学校再開の授業にゆとりをもたせられないか。

答 夏季休業後の授業再開時は、子どもたちの心理面への配慮が特に必要な時期の一つであると認識しており、昨年度から小学校各校において、子どもの実情に合わせ、校長の判断で授業を４限や５限までにしている。

中学校は、文化祭を予定することで、授業を５限までに短縮し、学校再開後の生徒の心理面への負担軽減に努めている。

特性に応じた個別の教育支援

問 通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、教育委員会としてどのような支援を行っているのか。

答 学びにくさのある子どもや配慮の必要な子どもへの対応は、学級担任等が保護者との相談のもと、子どもの状態に応じた個別の配慮を行っている。また、学級や学校全体で学びやすい環境づくりに努めている。

マッサージ施術費助成事業

問 マッサージは、健康寿命を延ばす有効な施術方法のひとつである。高齢者支援としてマッサージ施術費助成事業を導入できないか。

答 本市においては、過去に、高齢者の心身機能の維持向上を図るためマッサージ等の施術費の一部助成を行っていたが、利用者が限定的であったことや利用者ニーズの多様化などにより見直しを行い、現在は、介護予防を中心とした事業展開を行っている。

前田ナツ子（公明党）

認知症対策

問 高齢化の進展に伴い認知症になる人が増加している。本市における認知症対策の取り組みの現状は。また、認知症基本法に基づき、国が認知症施策推進基本計画を策定するが、本市の今後の計画策定の考えは。

答 基幹型地域包括支援センターに認知症サポート医を中心とした認知症初期集中支援チームを設置し、医療・介護関係者などとの連携強化を図っている。また、もの忘れ相談窓口や介護者家族の会による定期相談の継続実施など相談・交流の場の提供に努めている。

計画策定については、本市では高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画に具体的な認知症施策を位置づけ取り組んできていることから、この計画を一体のものとしての策定を想定している。

奨学金返還支援制度の導入

問 若者の経済的支援と地方創生の観点から、人口減少、若者の地方定着、人材定着を促す奨学金返還支援制度の導入についての考えは。

答 奨学金返還中の方を対象にした生活実態調査の結果から、奨学金の返還に関する経済的負担が若者の人生や生活設計に大きく影響していると認識している。

奨学金返還支援制度により、若者のUターンや定着促進などに取り組んでいる自治体は増加傾向にある。本市においても、支援制度の事業効果や制度設計の調査・研究を引き続き行うなど、制度の必要性について検討を進めていく。

上田 公司（うえだ こうじ）

ごみ収集業務の民間委託

問 ごみ収集業務について、民間委託と直営の場合の人件費を比較するとほぼ同額であり、また、事実上の一社応札の落札率100％では、市として果たすべき競争性や経済性が働いておらず、最小の経費で最大の効果に繋がっていない。また、人件費相当額の一人約430万円が実際に委託従事者に充てられていなければ、委託業者の利益になるだけである。業務も取り切り、収集作業が済んだら帰って良いなど、疑念が残る。業務体制のチェックさえせずに、どうやって最小の経費との判断ができるのか。

答 取り切りについては、委託事業者が判断・決定している。人件費については、業務日数や業務に必要な人員数等を積算している。また、委託従事者の従業員への支給額の確認等は事業者の裁量であり、市が関与するべきものではない。今後は、業務の執行状況と委託する地域のごみステーションの数や地理的要因などを考慮し、最小の経費で最大の効果を上げるようにしたい。

鳴門市クリーンセンター

焼却施設についての公文書

問 市は「公文書に基づき説明することが原則」としながら、実際には、文書主義にも法令等にも反する説明を長年続けてきた。また、公文書を根拠なく書き換えることなく、公文書に基づき説明責任を果たすことを、改めて市民に約束してはどうか。

答 稼働当初に公文書に記載された内容から、現状の運用状況に変更した経緯の詳細が確認できず、市民に十分な説明ができないことはじくじたる思い。今後は適正な公文書の管理に努め、公文書に基づき市民の皆様に十分説明したい。

山根 巌（やまね いわお）

学区制の廃止

問 徳島県公立高等学校の入試制度における学区制の廃止について、これまで市として何を求めてきたのか。

答 鳴門市から通学が容易な徳島市の属する第3学区へ進学を希望しても、定められた流入率により合格者数が制限されており、学区内外の受験生の間で合格最低点に大きな差が生じている。また、この問題が本市の人口流出の要因の一つと考えられ、本市のまちづくりに影響を与える重要な課題となっている。

長年要望してきた学区制の廃止について、第3回有識者会議において学区制を撤廃する方向性で議論すると示されたことは、大きな一歩を踏み出したと考えている。今後も議論を注視していく。

鳴門高等学校 奨励金給付事業

問 鳴門高等学校奨学金給付事業の内容は。

答 奨学金給付事業は、将来教員となることを目指し教職特別講座を受講する学業優秀な市内の生徒に奨学金として毎月2万円を給付するもの。

教職特別講座については、多くの教員を目指す学力優秀な生徒が集まり、かつ効果的で実践的な取り組みとなるよう積極的に支援をしていく。

徳島県立鳴門高等学校

就学前保育・教育の充実

問 急激な少子化が進行している現在、本市における今後の就学前保育・教育のあり方についての考えは。

答 公立幼稚園のあり方を含む将来的な就学前保育・教育のあり方については、公私連携施設の導入も含め、適正配置や地域の実情を十分配慮したうえで再編も含めたさまざまな選択肢を視野に取り組んでいく。

小西（こにし） 努（つとむ）（潮）

職員採用試験

問 職員採用試験が本年度より変更になった理由は。また、変更内容とその効果は。

答 優秀な人材を確保するためには、より幅広く受験者を募る必要がある。そこで、令和6年度の採用試験は、行政事務職ほか一部の職種において時期の前倒しやすべての職種で教養試験を廃止した。変更内容は、一次試験においてウェブ面接を実施し、面接試験の回数を増やすなど、より人物重視に重点を置いた内容とした。効果についても、採用試験の申込者数が前年度の1・5倍になり、一定の効果があったものと考えている。なお、これからもより良い試験内容を模索していく。

職員の資質向上

問 職員の資質向上を図るための取り組み内容と、意欲を持って働くことができる職場環境づくりについての考えは。

答 「令和版もんじゅグループ」を結成。職員同士が所属の枠を超えて連携し、市の課題解決に向けて取り組む。時代に即した考えや手法を活用しながら政策形成研修を実施している。

市民に向けた応急手当の講習内容

問 救急車が来るまでの応急手当が、なぜ大切なのか。また、市民向けの講習の内容については。

答 急な心肺停止や事故に遭遇した際に、その場に居合わせた人が勇気を持って行動することにより、市民から救急隊、医療機関へつなげる救命の連鎖が重要となる。市民の皆様が命を助けるための第一歩を踏みだせるよう購習を通して伝えていきたい。

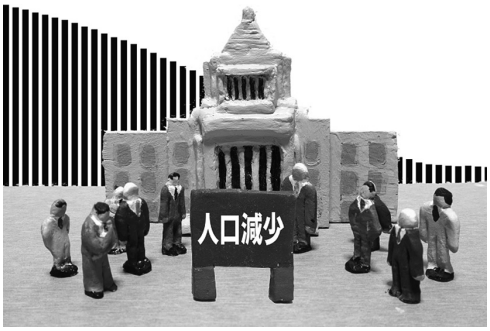
長濱（ながはま） 賢一（けんいち）

人口減少対策

問 地方創生への取り組みが10年を迎え、行政は人口減少に歯止めをかけられなかった失敗を素直に認め、課題の解決に活かす反省と具体的取り組みを示すべきである。現施策の課題と原因、第三期総合戦略の方向性について、市としてどのように考えているのか。また、人口減少対策には企業誘致が必要で、助成金等のソフト戦略だけではなく、施設や産業団地の整備などハード事業が不可欠である。国の進める半導体や地域データセンターの整備、国立公園内でのホテル誘致、県のバッテリーバレイ構想について、本市の取り組みは。

答 人口減少に歯止めをかけることは容易ではないが、若者の定着促進を図りつつ出生数の増加に努め、できる限りの人口減少スピードの緩和に取り組む。また一方、交流・関係人口拡大、コンパクトシティーの実現など、人口減少に適応するまちづくりも必要であると認識している。企業誘致には、産業団地の整備ではなく、民有地の活用を考えている。県の徳島バッテリーバレイ構想には都市計画マスタープランの新産業・流通ゾーンを中心に、立地検討企業に提案できる条件整備を進めていく。

要望 第三期総合戦略に向けて、実施施策の効果検証を詳細に行い市民に公表することや人口自然増に直接効果のある不妊治療助成の拡充、企業や個人への産休や育休への給与補填、コンパクトシティーの実現のための地域交通のネットワーク化、企業誘致のための土地開発公社等の専門機関の創設、地元高校の魅力向上のためのまちなかへの学生寮の整備を強く要望する。



令和５年度の決算を審査しました

５日間にわたり予算決算委員会を開催し、令和５年度決算に関する議案13件について審査しました。

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を抜粋したものです。】

地域活性/市民生活/福祉/上水道/下水道/消防

■：質疑　●：答弁　★：意見

【地域活性】

■なると結婚新生活支援補助金の実績は？

●39歳以下の新婚世帯を対象に新生活開始にかかる敷金・礼金、仲介手数料、共益費などの住宅費用や引越費用、リフォーム費用を支援する補助金。夫婦ともに29歳以下の新婚世帯で世帯の所得が500万円未満の場合は、１世帯あたり上限60万円、39歳以下の新婚世帯で世帯の所得が500万円未満の場合は、１世帯あたり上限30万円、500万円以上の場合は、上限15万円を支援。令和5年度は、27世帯に合計562万2,000円支出した。

＊　＊　＊

■なると定住促進住宅取得補助金の実績は？

●市内で住宅を建築または購入した夫婦のいずれかが39歳以下の世帯に対し、住宅取得にかかる費用の一部を支援する補助金。令和5年度は、99世帯に補助を行っており、そのうち、35世帯が市外からの転入となっている。

【市民生活】

■自転車用ヘルメット購入費補助金に関して、高校生世代の申請数は？
また、高校生のヘルメット着用率向上の施策は？

●高校生世代の申請数は24件。着用率向上の取り組みとして、鳴門高校および鳴門渦潮高校の生徒・教職員を対象に、改正道路交通法の自転車用ヘルメット着用義務化や市内の自転車事故の発生状況などの交通安全講話を実施しているほか、着用キャンペーン等の啓発活動を行っている。

★今後、自転車活用施策に取り組む際には市民が自ら命を守る意識が根付くような施策を考えてほしい。

【福　　祉】

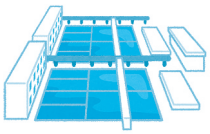
■不妊治療費助成事業の実績は？

●保険適用前の平成29年度から令和５年度までに151名の方に、延べ391件の不妊治療費を助成している。その結果、出生した子どもは113人。本事業により、年平均16人が出生している状況である。

【上 水 道】

■鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況は？

●浄水処理棟の本体工事をはじめ、管理棟、着水設備棟、濃縮槽の躯体工事に加え、機械設備、電気工事に着手した。また、本市に建設する共同浄水場から対岸の北島町へ浄水を送るため、河川の横断管路を整備し、進捗率は43.5%である。



【下 水 道】

■合併処理浄化槽の普及促進事業の状況は？

●合併処理浄化槽への転換にかかる補助金の利用件数は37件あり、令和４年度（15件）と比較して約2.5倍と大幅に増えている。

【消　　防】

■市内の消火栓の充足率は？

●現在、市内には1,494基の消火栓を設置しており、充足率は約89%である。100%にするためには、消防水利空白地域に、あと73基の設置が必要で、年間１基ずつ新設消火栓の設置を行っている。

＊　＊　＊

■消火栓の点検はどのように行っているのか？

●署員約40名が18地区に分かれて、春と秋の年2回、各地区3日間で消防水利調査を行っている。その際に消火栓や防火水槽の点検整備を行っている。点検項目としては、蓋の開閉状況の確認や接続金具の動作確認、入り込んだ土砂や水の除去などであり、適正に使用できる状態にしている。

行政視察

【総務文教委員会】

10月30日〈高知県安芸市〉オンライン視察

◎藤田　茂男　○小西　　努　　上田　公司
宅川　靖次　　野田　粋之　　浜　　盛幸
高麗　裕之　（◎は委員長、○は副委員長）

《出逢いコンシェルジュを活用した婚活支援について（高知県安芸市）》

出逢いコンシェルジュの役割として、出会いの情報発信や出会いイベントの開催、企業・団体を巻き込んだ取組などに加え、出会いを求める方への伴走支援にも取り組んでおり、安芸市の出会いの場の創出に貢献していました。

少子化対策や地域活性化の観点から結婚支援の重要性が高まっている中、安芸市の積極的な取組は非常に興味深い内容でした。

【生活福祉委員会】

10月28日〈東京都江戸川区〉現地視察
11月８日〈福岡県福岡市〉オンライン視察

◎圃山　俊作　○梶　　達矢　　叶井　克典
佐藤　絹子　　潮崎　憲司　　前田ナツ子
三津　良裕　（◎は委員長、○は副委員長）

《ひきこもり支援事業（東京都江戸川区）》

ひきこもり状態にある当事者とその家族を支援し、当事者の自立を促すことで、当事者と家族等の福祉の増進を図る施策でした。令和３年度に約 18 万世帯を対象としたひきこもり実態調査を実施、結果を受けて支援施策を拡充し、伴走型による繋がり続ける支援を行っていました。

《認知症フレンドリーシティ・プロジェクト（福岡県福岡市）》

「認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち」を目指す「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」に取り組まれ、認知症の方を支援する施策のほか、当事者の方も含めた産学官民で協働するなど、認知症の方も「社会の一員」として活躍できるまちを目指されていました。

【産業建設委員会】

10月21日〈愛知県常滑市〉現地視察
10月22日〈愛知県知多市〉現地視察

◎長濱　賢一　　江戸　貴志　　橋本　国勝
山根　　巌　　東　　正昇
（◎は委員長）

《ボートレースとこなめ複合施設化事業（愛知県常滑市）》

全国的に減少傾向にある本場への来場促進と新たなファン層の獲得に向け、レース観戦以外に生後６か月から 12 歳が対象の親子が楽しめる「Mooovi（モーヴィ）とこなめ」のほか、ヨガやミニサッカーなど子どもから大人まで幅広い世代が交流できる「Gruun（グルーン）とこなめ」の視察を行いました。

《知多市観光ビジョンアクションプラン 2024（愛知県知多市）》

観光による人流を可視化するツール「おでかけウォッチャー」により、観光客の属性分析を行い、得られた観光動態データを活用した勉強会の開催や異業種交流の場を創出する取組を行っていました。本市の第２期観光振興計画の策定にも大変参考となる取り組みでした。

●行政視察とは●

議員が他自治体等の先進的な取り組みをしている地域の行政・経済・文化等の実情を把握し、議会活動に活かすことを目的に実施しています。

〈第２回〉鳴門渦潮高校の生徒による表紙制作

◇「議会だより 129 号」表紙制作者紹介 ◇

〈鳴門渦潮高校総合科学科３年〉

於田　　桜 さん　　菊原さくら さん
里見　愛羅 さん　　上野　美咲 さん
岡田理咲菜 さん　　髙橋　　舞 さん
齋藤　智裕 さん　　新居日菜乃 さん

〈鳴門渦潮高校職員〉

平山　隆恵 教頭　　高橋　沙織 教諭

《表紙の説明》

10 月 20 日(日)に鳴門・大塚スポーツパークで開催された徳島ヴォルティス主催イベント「スタジアム学園祭2024」に参加をしました。駄菓子を販売したのですが、たくさんの皆様にご来店いただき、イベントを盛り上げることができました。

～　表紙を制作しての感想　～

【Ｑ１】議会だよりの表紙制作の依頼を受けて、どのように思いましたか。

私たちが担当すると聞いて驚きましたが、鳴門渦潮高校の良いところを活かした表紙にしようと思い、精一杯頑張りました。議会と市民をつなぐ広報誌に携われて嬉しく思います。

【Ｑ２】制作にあたり、どのようなことに気をつけましたか。

私たちが活動している写真をたくさん選びました。ひと目見て「楽しそう！」とわかる、生き生きした表情で親しみやすい表紙になるように心掛けました。

【Ｑ３】制作を終えて、率直な感想は。

自分たちが参加したスタジアム学園祭の写真が選ばれて率直に嬉しいし、私たちらしい表紙を作ることができたと思います。表紙を通じて鳴門渦潮高校の良いところや活動を知ってもらえたら嬉しいです。

【Ｑ４】議会に対して、どのようなイメージを持っていますか。

堅苦しいイメージがありますが、鳴門を暮らしやすいところにしようと思って頻繁に話し合いをしているところだと思います。

【Ｑ５】鳴門市議会や議員に何を期待しますか。

鳴門市にいろいろなスポットや遊ぶところを増やして欲しいことと、商店街や空いている土地や商業施設、若い人をはじめ、たくさんの人が集まるような憩いの場を作って欲しいです。また、私たちの意見や考えを取り入れて欲しいです。

【Ｑ６】今後、議会だよりを見てみたいと思いますか。

はい、思います。自分たちも成人になる年齢を迎えるので、議会だよりを見て、議会の動きや結果を知り、様々なことを知りたいです。

令和６年第４回定例会の予定（12月４日～12月25日）

日	月	火	水	木	金	土
12月１日	2	3	4 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	5 一般質問 通告締切	6	7
8	9	10 一般質問（代表）	11 一般質問（個人）	12 一般質問（個人） 予算決算委員会	13 総務文教委員会	14
15	16 生活福祉委員会	17 産業建設委員会	18	19 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	20 本会議	21
22	23	24 全員協議会	25 本会議／閉会	26	27	28

■（赤字）はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■（緑字）はインターネット中継を行います

ご　意　見　箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会　ご意見箱」を設置しています。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会　ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信。

②鳴門市役所 本庁舎１階 待合ロビー付近に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしませんが、個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。

もっと議会を知りたい

【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。

【会議録をウェブサイトで見よう】

①「鳴門市議会」を検索。

②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索。

《傍聴にお越しください》

令和６年第４回定例会は上記の日程で開催予定です。
本会議、各常任委員会の傍聴に、ぜひお越しください。

- **本会議…議場**
  (受付：西側エレベーター４階／議場入口)
- **委員会…委員会室**
  (受付：西側エレベーター４階／議会事務局)

※当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。

《議会広報委員会》

委 員 長：梶　　達矢
副委員長：上田　公司
委　　員：小西　　努・圃山　俊作・潮崎　憲司
　　前田ナツ子・長濱　賢一・八木　　亨
　　橋本　国勝

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。

編集後記

今回は鳴門渦潮高校の皆さんに表紙制作をお願いしました。学校行事などで忙しい中、有難うございました。また、他にも議員定数削減や新たな試みであるオンライン委員会視察についても掲載していますので、ぜひご覧ください！

（副委員長：上田公司）